

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 6日

柏市長 殿



提出者

住 所 千葉県千葉市稲毛区山王町289-3
大有建設株式会社 千葉営業所
氏 名 所長 中村 中

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-422-8551

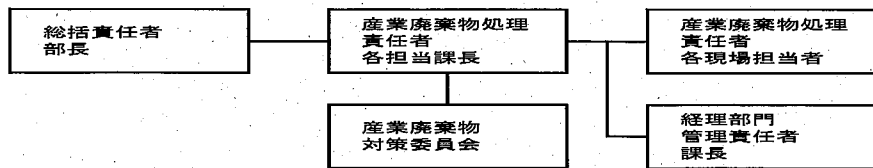
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大有建設株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区山王町289-3
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：540,000,000円
③従業員数	6人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト殻・コンクリート殻・がれき類 →再生処理業者に委託して再生砕石等として再資源化 廃プラスチック類 →再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 木くず →再生処理業者に委託してチップとして再資源化 建設汚泥類 →中間処理業者に委託して脱水後、改良土として再資源化

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	排 出 量	2,373.08 t	1,266.32 t
	(これまでに実施した取組) 発注者と調整を行い削減に取り組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	排 出 量	2,300.00 t	1,200.00 t
	(今後実施する予定の取組) 発注者と調整を行い削減に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) それぞれに分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も分別処理を徹底する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
排 出 量	14.00 t	1.00 t	24.20 t	8.29 t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
排 出 量	10.00 t	1.00 t	20.00 t	4.00 t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 実施は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定は無し。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	(これまでに実施した取組) 実施は無し。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定は無し。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 実施は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定は無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
	全処理委託量	2,373.08 t	1,266.32 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	2,373.08 t	1,266.32 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 処理業者と適切な委託契約を行う。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
全処理委託量	14.00 t	1.00 t	24.20 t	8.29 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	14.00 t	1.00 t	24.20 t	8.29 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
		全 処 理 委 託 量	2,300.00 t	1,200.00 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,300.00 t	1,200.00 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
		(今後実施する予定の取組) 同様に処理業者と適切な委託契約を行う。		
	②計画			
※事務処理欄				

(第5面)－2

【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	10.00 t	1.00 t	20.00 t	4.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	10.00 t	1.00 t	20.00 t	4.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。「
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

提出年度 令和 7年度
 最も下行の名称は
 任意入力です。

名 称	現状/計画	資源									
		A 排出量 (t)	B 自ら再生利用 を行った量 (t)	C 自ら熱回収を 行った量 (t)	D 自ら中間処理によ り減量した量 (t)	E 自ら焼立処分又 は海洋投入処分を 行った量 (t)	F 産業廃棄物 の 全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績 今年度の計画	当該事業場におい て生じた産業廃棄 物の種類ごとの量	Aの量のうち、自 ら再生利用した 量	Aの量のうち熱回 収を行った量	Aの量のうち、自ら中 間処理により減量し た量	Aの量のうち、自ら 焼立処分又は海洋 投入処分した量	中間処理及び 焼立処分を委 託した量	Fの量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	Fの量のうち、処理業 者への再生利用委託 量(t、J除く)	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者であ る処理業者への焼却 処理委託量	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者以外 の熱回収を行っている 処理業者への焼却処理 委託量
廃アスファルト	現状	2373.08					2373.08		2373.08		
	計画	2300					2300		2300		
コンクリート片	現状	1266.32					1266.32		1266.32		
	計画	1200					1200		1200		
レンガ破片など	現状	14					14		14		
	計画	10					10		10		
廃プラスチック類	現状	1					1		1		
	計画	1					1		1		
建設汚泥	現状	24.2					24.2		24.2		
	計画	20					20		20		
建設混合廃棄物	現状	8.29					8.29		8.29		
	計画	4					4		4		
合計	現状	3686.89	0	0	0	0	3686.89	0	3686.89	0	0
	計画	3535	0	0	0	0	3535	0	3535	0	0